

学校だより



平成27年1月30日

横浜市立二谷小学校
校長 渡邊 文子

本物にふれて

副校長 長田栄子

暦の上ではもうすぐ春ですが、厳しい寒さが続いております。これから寒さが増し、インフルエンザが流行する季節となります。学校でもうがい、手洗いを励行していきませんが、ご家庭でもお子様の健康にご留意ください。

さて、1月22日に4・5年生対象に落語体験教室が行われました。今年で2回目となります。今回は噺家、桂宮治さんをお迎えしました。軽快な口調で子どもたちをぐいぐいと落語の世界に引き込む話術はさすがプロです。落語の歴史や噺家の着物のこと、寄席の一番太鼓や追い出し太鼓の意味、扇子や手拭いを使った所作など、興味深いお話をしてくださいました。最後は演目「動物園」を披露してください、落語を心底から楽しむことができました。

落語は、一人で座って演じる芸です。それも台詞だけで物語を展開し、扇子と手拭いだけであらゆるものを表現したりするので、話術や表現力が大変重要だそうです。また、聞き手も想像力を働かせて聞かないとおもしろさが分からないそうです。この授業で、子どもたちも想像力を働かせたくさん笑い、落語の奥深さを感じたことと思います。本物のもつ力ですね。落語について教えていただいた中で、宮治さんがとてもいい話をしてくださったので紹介します。

「落語家の着物は、羽織でも着物でも表地は無地や縞です。裏地に模様を施したり、中に着る長襦袢を派手にしたりと、見えないところにおしゃれをするのがいきでした。昔から日本人は、見えないところや見えないものを見えるところ以上に大切にしてきたんですよ。」

「昔から日本人は見えないところや見えないものを大切にしてきた」これは現代の世にも受け継がれているはずですが、実際はどうでしょうか。何気なく言われた言葉が心に残りました。わたしたちの周りには、目にみえないけれど大切なものがたくさんあります。思いやりや気遣い、思いや願い、夢や希望、信頼、・・・一人一人みんなの中にあるもの、そういうものを大切にしていきたいと改めて思いました。

今年度も残すところあと2か月となりました。2月14日(土)には卒業を祝う音楽会を行います。寒さ厳しい時期ではございますが、是非ご来校くださり、児童へ温かい声援をおくってくださいませようお願い申し上げます。